「天草崎津集落」世界遺産登録に向けての本市の受入体制について

浜崎 昭臣 議員

浜崎 ①受入体制の進捗状況について②道の駅について③天草夕陽八景の環境整備について④「天草宝島空港」「天草サンタ空港」「天草四郎空港」といった天草をイメージする空港として愛称の公募等を含め可能性について⑤バス停名称変更についてお尋ねする。

観光文化部長 ①崎津漁港前の近くに新たに駐車場及びトイレを整備する。②崎津の観光拠点施設の27年度末の登録を目標に協議を始めている。また仮称イルカセンターも道の駅の機能を持った施設として整備を推進している。③国道からの誘導看板12カ所設置したが、今後も必要性を考慮して実施する。

地域振興部長 ④必要に応じて県と協議していく。⑤地域の方々、観光客から要望や指摘があれば産交バスへ相談する。

浜崎 世界遺産と、夕陽・歴史をコラボして、より天草の魅力を発信すべきだと思う。

河浦町崎津のマリア像の夕陽

【災害時の危機管理体制のあり方について】

浜崎 6月11日天草2～3号橋の国道266号が全面交通止めになったが、市の緊急対応が杜撰（ずさん）と思える点が多かった。

総務部長 緊急時に対応出来る体制づくりに取り組んでいく。

【天草宝島親善大使の任命について】

浜崎 親善大使の任命基準が、この度、取扱要領施行により一気に厳しくなった。市長にその真意を問う。

市長 個人あるいは団体から様々なかたちで推薦あるいは任命依頼があっており、その分野や本市とのかかわりも多種多様で、取り扱いを整理する必要が生じていた。当面は取扱要領に沿って運用するが、将来的に全く変えないという事でなく見直す必要があると考えている。

地方版総合戦略について支所に要する交付税について

池田 裕之 議員

【地方版総合戦略について】

池田 一般的に地方創生と云う政策が提示された。少子高齢化は日本全体の人口減少となっている。国は、地域に応じた処方箋が必要として、各自治体に「人口ビジョン」と「地方版総合戦略」の策定を求めているが、天草市は、どのような視点で取り組むのか。

総合政策部長 天草市は、第2次総合計画を策定し将来ビジョンを描いている。総合計画の中で対応していきたい。

池田 それぞれのまちづくり協議会の提案や地方創生の事業に載った新たな計画は無いのか。

総合政策部長 新たな取り組みは無いが総合計画の中に包含して計画したい。

池田 地方創生の基本目標に「安定した雇用を創出する」「地方への新しい流れを作る」とあるが企業誘致や起業創業・拡大の可能性はあるのか。

総合政策部長 先行して誘致した㈱アイエスエフネットや日本トータルマーケティング㈱の2企業や「藻類培養実証施設」に続く企業誘致に力を注ぎたい。

【支所に要する交付税について】

池田 平成の合併により面積が拡大、災害の拠点など支所の役割分を交付税に算定加算する。天草市への影響、支所への配分は。

総合政策部長 支所加算経費が加算されても、平成33年度には約45億円削減されると予測されるが、まちづくり計画に基づく事業の財源は確保していきたい。

池田 天草市ではインターネット環境の格差が激しい。地方創生の取り組みにより通信環境の整備に取り組めないか。

市長 通信事業者が整備した場合、市の負担金が48・6億円、市の光ケーブルを利用した場合は、12・3億円必要となるが、メディカルネットについては、医師会と協議を行い、整備を進める。

熊本天草幹線道路（本渡道路）整備について

平山 泰司 議員

平山 熊本天草幹線道路の現在までの進捗状況及び、第2天草瀬戸大橋を含む本渡道路の事業経過はどうなっているのか。

建設部長 熊本天草幹線道路は、熊本市から天草市までの約70㎞の地域高規格道路で、これまでに有明・松島間、約13・3㎞が完了し、現在4区間、約15・5㎞で整備が進められている。本渡道路（第2天草瀬戸大橋）については、整備延長が約1・3㎞、全体事業費が123億円となっている。平成25年度に着手され、現在まで、測量設計等が実施され、事業費は、年間1億円程度となっている。

平山 幹線道路及び第2天草瀬戸大橋の早期完成に向け、市はどのような取り組みをしているのか。

建設部長 事業の促進を図るためには、未整備区間を整備区間に格上げして頂くと共に、整備中区間の予算確保が必要となるため、事業主体である熊本河川国道事務所や熊本県はもとより、国土交通省や財務省及び九州地方整備局に対し、天草地域並びに宇土半島地域の現状や整備の必要性をご理解頂き、早期完成に向け取り組んで頂くよう要望活動を実施している。

平山 第2天草瀬戸大橋の早期完成に向けた取り組みと決意を、市長にお尋ねする。

市長 幹線道路の早期完成を図るため、熊本県天草広域本部の用地課へ職員を派遣するなど、市としてあらゆる面で協力すると共に、熊本天草間幹線道路整備促進期成会会長として、事業主体へ、強く要望していく。

混雑する瀬戸大橋

マイナンバー制度について 水産物の安定供給と保管について 天草市の地域活性化について

浜崎 義昭 議員

【マイナンバー制度について】

浜崎 これまでとは異なる新たな12桁の個人番号、そして13桁の法人番号が附番される。大半の人を対象とした新たな番号制度はなぜ必要で、何のために使われるのか。使われることで何がよくなるのか、また問題は引き起こされないのか。マイナンバー制度で情報漏えいが起きたら、様々な問題が起こる。メリット、デメリットは。情報漏えいなど安全対策は充分できているか。住民にカードを作ることを行政が推進しないように求める。

市民生活部長 きめ細やかなサービスが可能になる。

【水産物の安定供給と保管について】

浜崎 第2次天草市総合計画（計画期間平成27年度から平成30年度）の政策「3・水産業の振興」では、目指す姿の一つに、「新鮮で安心安全な水産物の安定供給は行われています。」とあるが、新市建設の基本方針「地域別整備の構想」でも「海洋拠点ゾーン」を位置付けられている。現状では、漁獲量の減少・魚価の低迷・燃油の高騰・高齢化・就業者数の減少・磯焼け・サンゴ化・藻場の減少と言うように天草の漁業に危機感が強まっていることが書かれている。この間、牛深で最も漁獲量が期待されている棒受け網漁において、冷凍庫が満杯の為、出漁停止2日間が行われている。民間の冷凍庫の空はあるが、漁協の経費節減のため民間の冷凍庫の契約解除を行っている状況。行政として漁獲に必要な冷凍庫の援助は行わないのか。また、水産物の鮮度について漁業者は、少しでも高値を狙って鮮度を保持し、水揚げを行う。水揚げされた鮮度抜群の魚は、入札までの間水揚げ後、しばらくは外気にさらされ、入札を待つ。業者にわたるまでの間、鮮度を落とさないようにすることがこれから先の水産業発展のためにも施設整備が必要ではないか。

経済部長 漁協等と検討を行っていく。

【天草市の地域活性化について】

浜崎 合併後の周辺地域活性化が早急に望まれる。第1次産業（農林漁業）を学び、近未来のリーダーとなる人材を育成し、豊かで健全な里海を守るために総合管理を行い、科学的な基礎を提供するため、人材育成のためのマイスター養成を行うべきではないか。

経済部長 大学等と連携をとり振興を行う。